仕事に専念する

人はただ与えられた仕事に専念することが大切であり、今日一日の仕事を一所懸命にやることだ。

まずは「I am President（俺は社長だ）」という気概を持とう。

自分の仕事を社長であればどのように位置づけるか、部長であれば、課長であれば、とそれぞれの立場になって視ることが大切である。立場を替えてみることで仕事の全体像や自分の仕事の位置づけが分かる。どのような仕事でもそれが経営であると観念するところに、「何のために」という視点で見ることで適切な工夫も、新らしい発見も生まれる。前例通りという仕事の進め方では進歩はない。

また、上司の動きから会社の力学を学び、仮想演習を行ってマネジメント術を会得していくことも大切である。与えられた仕事は必ず他の人の仕事と関連するから、時間の余裕があれば関連部署に赴いて話を聞いたりし、その部署の仕事を知ることも大切な勉強である。

一つの分野を深めるに従って視野が広くなる。一つの分野を深めれば深めるほど、それに付随した裾野が広がり、結果的に全体が見えるようになるのである。そのような人を「T字型人間」と言う。多方面の能力・知識を持つ人をゼネラリストと言うが、ゼネラリストの知識は広く浅くでしかない。それに引き替え「T字型人間」は、一つの分野に詳しくして他の分野の造詣も深いという人間となる。

「この分野では誰にも引けは取らない」というところまで仕事を深めると、自分に対する自信も芽生えてくる。それは信念をもって主体的に生きることに繋(つな)がり、楽しく有意義な日々をもたらすことになるのである。